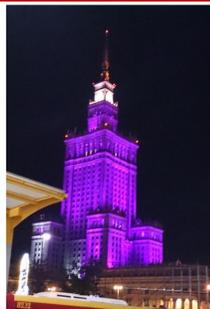


SSSV 成果報告 ～ポーランド & ラトビアの軌跡～

三村・根尾・伊藤研究室

Schedule

9月24日 ワルシャワ到着
 25日 観光 旧市街地&アウシュビッツ
 26日 Welcome party
 27日 Inter Academia 2016 ショパンの生家
 28日 ポスター&オーラル ガス博物館



駅前ライトアップ

29日 ラトビア到着
 30日 研究室交流
 10月1日 Science Night
 2日 現地の学生と交流
 3日 研究室見学
 4日 観光
 5日 帰国



観光地へ現地学生と移動

Poland



面積	312,679km ² (日本と同程度)
人口	約4000万人(関東と同程度)
首都	ワルシャワ
言語	ポーランド語
通貨	ズウォティ(PLN)

ポーランドはHeart of Europeといわれ、まさに地政学的、文化的に東西ヨーロッパの懸け橋になっているヨーロッパの中央に位置する国である。国名の語源は「平原」からきており、限りない大平原が広がっている。原生林や林の間を糸のように流れる無数の川は独特の景色をおこなしている。



ポーランドの鉄道



駅前高層ビルからの景色



旧市街の街並み

Latvia



面積	64,589km ² (静岡県の9倍)
人口	約220万人(静岡県の2/3)
首都	リガ
言語	ラトビア語
通貨	ユーロ(EUR)

ラトビア共和国はバルト海に面し、北欧や中欧、ロシアを結ぶ交通の要地に位置する。森林が国土の半分を占める緑豊かな土地には、数千を超える湖と湿地が点在。豊かな自然、風光明媚な景観が夏のリゾート、ウィンタースポーツが楽しめる冬のリゾートとして人気を呼んでいる。



旧市街中心地にある教会からの景色



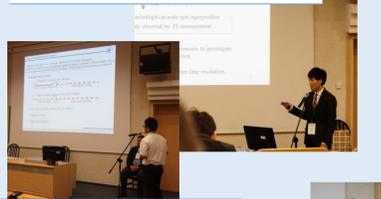
トゥライダ城からの景色



食事(ピンクのスープ)

Inter Academia 2016

Oral and Poster session

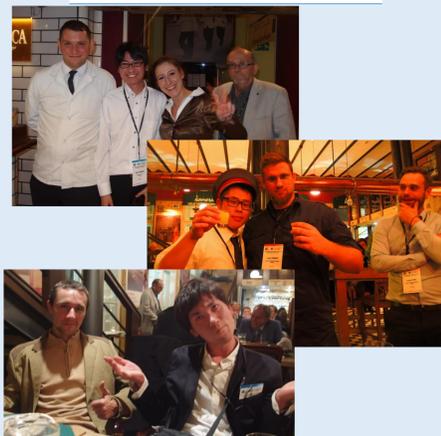


口頭発表&ポスター発表の人も3分間のShort presentationで呼び込み



ポスター発表興味を持って頂いた先生方に身振り手振りで説明

Welcome party



Riga Technical University

研究室交流の様子



受け入れ先のMedvids先生

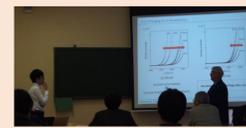


三村先生の講演

学生の発表



英語での質疑応答に四苦八苦



Sightseeing

ポーランド



ショパンの生家



旧市街地



文化科学宮殿

ラトビア



グートゥマニャ洞穴



自由の記念碑

トゥライダ城

研究室見学



圧力センサー



光ファイバー



建築棟の授業風景

Science night



テクノフェスタのようなイベントに参加



滞在中お世話になった鈴木さん(静大近藤研から留学中)

Summary

英語のコミュニケーションは困難だったが貴重な体験であった。日本で英語を学ぶことと、実際に海外で英語を用いることは全く別物であると感じた。10月なのにとても寒かったが現地の料理は美味しく、体が温まった。歴史的な建造物が多く、見るだけで心がdancing。意思疎通が出来たときは嬉しかったし、異国の文化に触れたことは貴重な体験として記憶に残り続けると思う。今後はコミュニケーションのバリエーションを増やすために、語彙力の圧倒的成長が必要。

